



安里 周作 議員

恩納村教育ビジョンについて

質 自律プロジェクトの取り組みを伺う。

答 学校教育課長（仲村 泰弘）

自律プロジェクトは、マイプラン学習、個人で学習計画を立て主体的に学ぶ授業の体系ですが、マイプラン学習を取り入れることにより、子供たちが自らタブレット端末や図書館の資料、教師が準備する掲示物などから情報を収集し、課題解決に向け主体的に学んでいくことで自ら考える力を高めていきたいと考えています。

質 恩納村の歴史教育の取り組みについて伺う。

答 学校教育課長（仲村 泰弘）

恩納村の歴史教育は、小学校3・4年生で社会科副教材「わたしたちの恩納村」で近代の歴史を学んでいます。文化情報センター、博物館等と連携し、山田

グスクの歴史ロードの踏査を通して学んでいます。

質 恩納村教育ビジョンで礼儀作法についての教育をどのように考えているか伺う。

答 学校教育課長（仲村 泰弘）

子供たちにはルールやマナー、言葉遣いなどを授業や、家庭において日常的に教えていくと共に、子供たち自身が児童会・生徒会活動や各種体験活動を通して、場面に応じたふるまいや挨拶等が適切にできるよう取り組んでいきたいと考えています。

職員配置の危機管理及び人材育成について

質 「恩納村定員管理計画」を策定するにあたり、取り組みを伺う。

答 総務課長（宮平 寛）

職員採用は、年齢の平準化や、増減2～3名の範囲内で柔軟に対応してきた。第2次計画については、複数の部署の職員を集めて、チームで各課の課題を洗い出す作業を進めています。その課題を持ち寄って、審議して2月をめぐりに庁議で報告して、3月末の第2次の定員管理計画を策定して、業務を進めています。

質 情報センター職員が1人になっているが、危機管理及び人材育成の面から2人体制が必要と思うが考えを伺う。

答 総務課長（宮平 寛）

担当課から要望もあります。運営について、司書の有無を確認しながら人員配置を検討していきたいと考えています。

質 福祉関係や技術職等の専門職で勤務されている職員数とその人員が適正であると考えているか伺う。

答 総務課長（宮平 寛）

技術職員は、15名います。福祉関係の職員は、23名です。技術若手職員が不足しています。毎年度採用試験を実施する予定です。保健師等の試験においては、担当する課と協議の上、実施するか検討していきたい。

農業振興基本計画の進捗状況について

質 進捗状況を伺う。

答 農林水産課長（平安名 盛常）

令和5年度は農家アンケート調査等を実施、令和6年度は、ワークショップを開催する予定です。

質 農業振興計画における遊休地に対する取り組みを伺う。

答 農林水産課長（平安名 盛常）

遊休地を再び農地として再生させる取り組みや適切な管理を行うよう指導を行います。また遊休地を今後の地域農業の中心経営体等に利用させることで、農地の遊休化を防ぎたい。

質 農業振興基本計画における新規就農者育成の取り組みを伺う。

答 農林水産課長（平安名 盛常）

就農直後等の資金面での支援、農地を確保・貸出を行う支援、また村内の担い手研修施設等を活用し農業に必要な技術や知識を習得するための支援を行っていきます。

質 農業振興基本計画における拠点産地品目の取り組みを伺う。

答 農林水産課長（平安名 盛常）

拠点産地品目は、ブランドの維持と強化を図ります。取り組みとして国県の補助金を活用し、園芸設備及び機械整備事業の導入や担い手研修施設等の活用、優良種苗購入補助等を実施していきます。



大城 保 議員

治水対策について

質 6月18日の大雨の際に億首川が氾濫し、農地や住宅地に浸水被害をもたらした。喜瀬武原の冠水被害について、現在の進捗状況を伺う。

答 建設課長（當山 国博）

今年度の工事完了を予定しているとの回答を得ました。喜瀬武原地域の冠水被害は軽減されると考えています。

質 県道6号線の法面がまだブルーシートで覆われた状態です。今後の対応を伺う。

答 農林水産課長（平安名 盛常）

恒久的な対策として国、県の補助事業導入を図り、排水施設の改良も含めて整備を実施していきたい。

公園管理について

質 恩納村多目的広場の管理状況を伺う。

答 農林水産課長（平安名 盛常）

毎年定期点検を行い、清掃は週1回、周辺の草刈りは年6回実施しています。

質 開園して10年、自然消耗や劣化で防護マットがめくれている。改善できないか。

答 農林水産課長（平安名 盛常）

経年劣化により一部変形しており転倒も想定されます。当面の間は注意喚起等の看板を設置し次年度にマットの取り替えも含めた修繕を検討していきたい。

観光農園市場調査について

質 調査結果に基づいて、3か所選定とありますが地域の方には説明されているのか。

答 農林水産課長（平安名 盛常）

観光関連連携型事業の報告書を基に3か所が有望なエリアと考えられていますが、県民の森周辺、恩納区、真栄田区が候補地が上がっています。その中で、対象地区で説明を行いました。今後は観

恩納村観光誘客おもてなし推進事業

光農園集積エリアとして、3か所で観光連携型農業の推進を図って、地域一体型、6次産業推進の一翼を担うものとの認識から農業者の参画、商工連携による村まるごと農園化に取り組んでいきたい。

質 赤間総合運動公園周辺から海浜公園に変更になった理由と予算規模、開催趣旨等を伺います。

答 商工観光課長（親泊 誠）

漂着ごみを活用したワークショップやサンゴの写真の展示など、海洋環境を意識したブース設定の提案もあり、海浜公園での開催としました。予算が1千5百7万円となっています。

質 1千5百万円、多額の金額を投じた中で来場者数403人、費用対効果は問われますが。

答 商工観光課長（親泊 誠）

うんなまつりが10月に移行し夏場のイベントで地域を活性化しようという目的で企画しましたが、集客は想定より伸びていません。総評としては、企画のコンセプトは環境にやさしいフェスとして、よいイベントと考えています。しかしながら開催時間の設定やその他

街路樹の剪定について

質 仲泊交差点、県道6号線、街路樹が道路側にはみ出して、木々を避け走行する大型車両が中央線をはみ出し事故が起る可能性があります。剪定、対応できないか。

答 農林水産課長（平安名 盛常）

保安林の剪定に関しては、9月定例会補正予算可決後以降に着手する予定となっています。